

Game Report

開催場所：大津町総合体育館

試合区分：第 23 回全九州大学春季バスケットボール選手権大会 女子準決勝

試合期日：2018 年 5 月 19 日(土)

CC：樋口 俊司

試合時間：13：20～

U1：峰 聡

U2：藪崎 康平

福岡大学	○ 7 4	19	—1st—	17	● 7 3	鹿屋体育大学
		13	—2nd—	23		
		14	—3rd—	12		
		28	—4th—	21		

第 1 ピリオド

開始早々、福岡大 #4 1 野口がファウルをもらいバスケットカウントが入る。福岡大は速い攻撃で #1 6 川口のシュートで連続得点。対して、鹿体大は #0 時長のドライブシュートで攻撃の流れを作り、福岡大にリードする。残り 4 : 4 1 で福岡大がタイムアウトを請求。流れを掴みたい福岡大だが、両チームとも激しい攻防により鹿体大はリードを許さない。福岡大は #4 1 野口、#5 1 中野が 3 P シュートを沈め、19 - 17 で福岡大のリードで第 1 ピリオド終了。

第 2 ピリオド

先制点は、鹿体大 #2 4 田村のバスケットカウント。立て続けに #0 時長のスリーポイントが決まり、鹿体大が流れを掴む。対する福岡大は果敢に攻めるも、ゴールに嫌われる。残り 7 : 2 5 のタイムアウト後、福岡大 #4 2 大槻のアシストから #2 8 藤井、#1 6 川口のシュートが決まる。その後も、#4 2 大槻のスリーポイントが決まり勢いがついた福岡大は徐々に点差を縮めていく。しかし、鹿体大も #2 4 田村 #0 時長のスリーポイントによりリードを許さない。残り 0 : 0 6 福岡大 #6 大関のシュートが決まるが点差は縮まらず 32 - 40 で前半を折り返す。

第 3 ピリオド

点差を縮めたい福岡大は積極的な攻撃により #4 1 野口は 2 回フリースローを獲得。ディフェンスは前から当たり鹿体大に得点を与えない。福岡大 #2 6 半田のシュートにより 4 点差まで縮めるが、鹿体大 #3 大串の連続得点により福岡大にリードを許さない。両チーム堅いでディフェンスで得点が伸びないまま、ゲームは均衡する。終盤も、そのまま激しい攻防が続き点差は縮まらず 46 - 52 で鹿体大のリードで第 3 ピリオドが終了。

第 4 ピリオド

福岡大ボールからスタート。#5 1 中野の 3 P シュートとミドルシュートが決まる。しかし鹿体大は #0 時長 #1 3 白石の 3 P シュートによりリードを許さない。福岡大は流れを変えるため早めのタイムアウトを請求。タイムアウト後、福岡大 #5 1 中野 #4 1 野口の連続得点により完全に流れをつかんだ福岡大は #4 1 野口のシュートにより逆転し、その後も勢いは止まらない。リードを止めたい鹿体大は #1 3 白石 #0 時長の 3 P シュートと #3 大串の得点により逆転をする。終盤、福岡大は #4 2 大槻のアシストにより #5 1 中野が 3 P シュートを決めて逆転しその後、鹿体大はタイムアウトを請求するが、福岡大の勢いは止まらない。最後、鹿体大 #3 大串がシュートを決めるがあと 1 点が届かず、74 - 73 で福岡大が勝利を収めた。